津波浸水、洪水・土砂災害防災マップについて

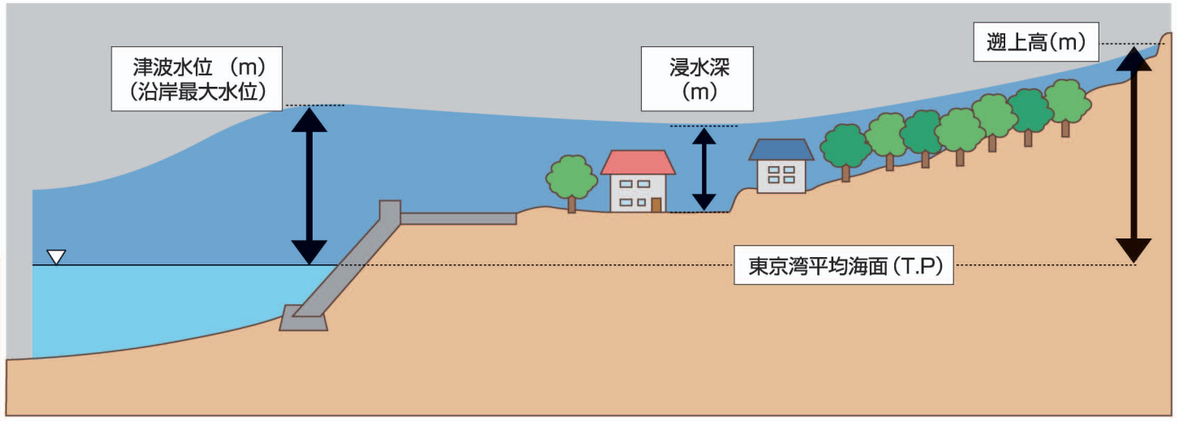
防災マップは、津波浸水と洪水・土砂災害について、危険性が及ぶと想定される範囲を町民のみなさまに知っていただき、防災への意識高揚と被害の最小化を目的としています。

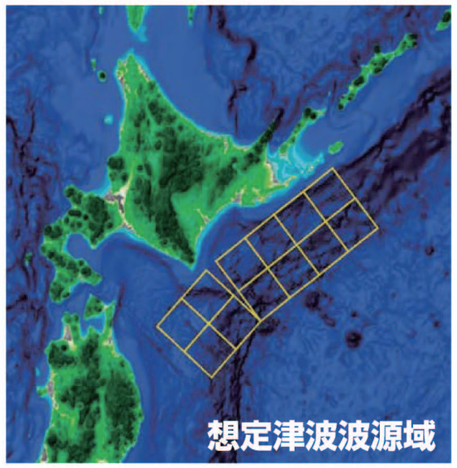
自分の住む地域にどのような災害の危険性があるか、どのような経路で避難すればよいかなど、災害に備えて日頃からご活用下さい。

津波浸水防災マップ

●津波浸水防災マップについて

北海道では、東日本大震災を踏まえ、最新のデータを基に「太平洋沿岸」における津波浸水予測図を平成24年6 月に公表しました。公表された津波浸水予測図は、太平洋沿岸で発生する恐れがある最大クラスの津波の発生を想定しています。
福島町では、公表された津波浸水予測図の結果から津波の浸水範囲や浸水深、津波が発生した際に身を守るための津波一時避難場所（高台）や短期間の避難生活を行うための二次避難所（収容避難所）の場所などを掲載した津波浸水防災マップを作成しました。津波に対する避難場所、避難経路や避難に要する時間など、日頃から確認して下さい。
なお、津波は自然現象のため正確な予測を行うのは困難です。今回想定された規模以上の津波の発生により、波高が高くなる場合もありますので注意が必要です。





津波浸水予測図において、津波の発生原因となる地殻変動が起こる領域を想定した図

用語の説明

○東京湾平均海面
全国の標高の基準となる海面からの高さを表す場合の基準で陸地の標高（海抜高度）の基準面。

○第 1 波到達時間
沖合水深 10m 地点で、地震発生から津波第 1 波のピークが到達するまでの時間。

○影響開始時間
沖合水深 10m 地点で、地震発生から津波による水位変動（初期水位± 20cm）が生じるまでの時間。
※津波第 1 波の最大水位が津波全体の最大水位とは限りません。

○浸水深
地表面から水面までの高さ。

○遡上高
津波が地表面を駆け上がり到達する高さ。
※同じ津波でも地形の違いで遡上高は変わります。

洪水・土砂災害防災マップ

●河川洪水による浸水想定区域について

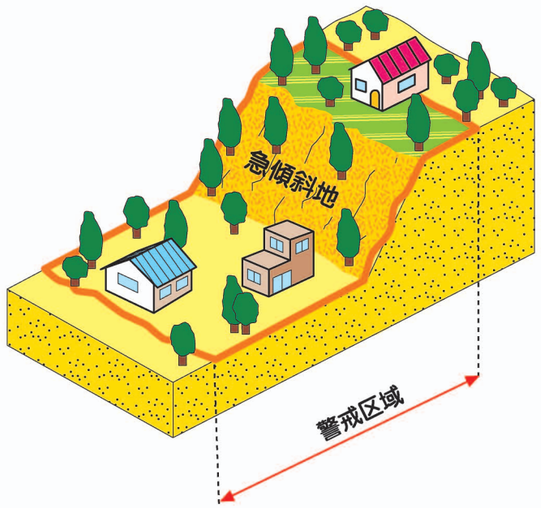
浸水想定区域は、福島川で約50年に1回程度起こる大雨によって河川水位が上昇し、はん濫が発生した場合の浸水予想範囲とその深さを表しています。
ただし、想定以上の降雨、支流や内水によるはん濫などが考慮されていないため、浸水予想範囲以外の地区でも浸水が発生する場合や水深が深くなる場合があります。
また、福島川以外の河川でもはん濫する場合がありますので、河川の増水に注意して下さい。

●土砂災害危険箇所と警戒区域について

土砂災害が発生した場合に被害が出ると想定される箇所を土砂災害危険箇所（土石流危険渓流、急傾斜地崩壊危険箇所）として表しています。この危険箇所を詳細に調査した結果、土砂災害が発生した場合に住民等の生命または身体に危害が生ずる恐れがあり、警戒避難体制を特に整備すべき区域を土砂災害警戒区域として指定しています。詳細な調査は順次行われるため、土砂災害警戒区域は今後も増えていくことが予想されます。
集中豪雨や長雨が続いた場合には、居住地周辺で土砂災害の前兆が見られないか注意が必要です。

土砂災害警戒区域

急傾斜地の崩壊



土　石　流

